

2024年度 歴史学科 出張講義

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	ご準備いただきたい備品等	講義形式	前期授業期間の講義開催曜日(目安)※	後期授業期間の講義開催曜日(目安)※	備考など
1	古代の「東北」を見直す	教科書に出てくる東北地方の古代史といえば、蝦夷と多賀城と坂上田村麻呂?? 実際の東北古代史は、実にさまざまな地域・人々が主役となり、彼らの交流・衝突のなかで社会や文化が変わって激動の時代です。交通や交流という視点から、古代の「蝦夷」や「東北」について考え直してみよう。	永田英明	プロジェクター	聴講形式	月(午前)、木	火(午前)、木、金	
2	出土文字史料から見る古代社会	全国各地の遺跡から出土する木簡などの文字資料の発見によって、従来知ることが難しかった古代の人々の暮らしの様相に様々な形でアプローチすることができるようになりました。これらを読み解く作業をつうじて、歴史資料と歴史学の魅力をお伝えします。	永田英明	プロジェクター	聴講形式	月(午前)、木	火(午前)、木、金	
3	もう一つの松島-鎌倉時代仏教文化の世界-	日本三景の一つ松島は、江戸時代より風光明媚な観光地として知られています。しかし、松島にはもう一つ、仏教文化の聖地という側面もありました。日本史のなかに松島という地域は、どのように位置づけられるのでしょうか。ここでは、鎌倉時代における松島のあり方を具体的に探ってみようと思います。	七海雅人		聴講形式	月、水	金	
4	世界遺産・平泉の世界	中尊寺金色堂に代表される岩手県平泉町の仏教関連の史跡群は、2011年、世界文化遺産に登録されました。この平泉の仏教文化をつくりだしたのが、12世紀の東北地方に君臨した平泉藤原氏です。平泉藤原氏による独自の政治と文化は、日本史のなかにどのように位置づけられるのでしょうか。鎌倉幕府と比較しながら考えてみたいと思います。	七海雅人		聴講形式	月、水	金	
5	鎌倉・室町時代 武士の実像-いくさと暮らし-	鎌倉時代~室町時代、東北地方には関東の武士たちが移り住み、現地の武士たちと交流をもちながら、地域の新しいリーダーとなっていきます。彼らは、どのような暮らしをしていたのでしょうか。また、合戦の実像は、どのようなものだったのでしょうか。古文書の内容を紹介しながら、みなさんといっしょに探究したいと思います。	七海雅人		聴講形式	月、水	金	
6	城郭研究と戦国時代	戦国時代を代表する遺跡として、皆さんの身近に残る城跡があります。今はもう単なる山になっていて、一見すると何もないように見えますが、実は当時の社会を考えるための重要な「史料」なのです。城跡の見方、調査方法などをご紹介しますながら、皆さんを城郭研究の世界へとご招待したいと思います。	竹井英文		聴講形式	金	月、金	
7	織田信長と「天下布武」	信長は、日本全国の統一、すなわち「天下統一」を目指していたとされることが多いです。ところが近年は別の説が有力になりつつあります。当時の古文書から、意外な「天下」の姿を解明してみよう。	竹井英文		聴講形式	金	月、金	
8	近世東北の馬と鷹	古代以来の馬産地である東北の馬、そして北方の鷹とその羽を獲得することは、天皇・貴族や武士にとって、権力を誇示するうえで重要なことでした。近世では、天下人や歴代の将軍が、東北の馬や鷹に強い関心を寄せました。彼らがなぜ東北の馬や鷹に関心を寄せ、どのように獲得していたのか、ご紹介します。	兼平賢治		聴講形式	月、火、木、金	月、火、木、金	
9	江戸時代の主従関係と殉死	主従関係において強い結びつきを示すものに殉死があります。仙台藩主伊達政宗の死後、多くの家臣が殉死し、忠死と賞賛されました。しかし幕府は、1663年に殉死を禁じます。そこにはどのような意図があり、殉死を禁じられた家臣はどうしたのでしょうか。殉死を通して江戸時代の主従関係を読み解きます。	兼平賢治		聴講形式	月、火、木、金	月、火、木、金	
10	江戸時代の結婚と離婚	江戸時代の離婚は、離縁状からイメージされるように夫が妻を追い出すものと考えられてきました。しかし近年は、離縁状についての理解が改められ、また離婚の実態の解明も進んで、新たな女性像や離婚観が示されています。そこで、江戸時代の結婚と離婚の実態を通して「家」や夫婦のあり方を考えます。	兼平賢治		聴講形式	月、火、木、金	月、火、木、金	

11	北上川舟運と石巻産井内石	北上川は、盛岡藩や仙台藩の米を河口の石巻まで運ぶのに利用され、その米は海路で江戸に運ばれて換金されました。これを廻米といいます。では、石巻まで米を運んだ船は帰りに何を積んでいたのでしょうか。船のバランスをとるバラストとして運ばれたという石巻産井内石に注目して実態を明らかにします。	兼平賢治		聴講形式	月、火、木、金	月、火、木、金	
12	一次史料から読み解く歴史"学"	歴史は暗記科目なのか？高校までの歴史科目ではなく、歴史"学"は一次史料を自分の力で読み解くものです。戦艦「大和」沈没を伝える日米の新聞紙面を一次史料としながら、歴史学のおもしろさを伝えます。	河西晃祐	プロジェクター希望（パソコンは持参可能）	グループワークを伴う「聴講型」	月（14時まで）、火、木（午前）、金	月、火、木（午前）、金	配布史料などは持参します
13	ポツダム宣言を“読む”	教科書にも必ず記載されている「ポツダム宣言」。一般的には「無条件降伏」を日本に強いた、と理解されていますが、実際には「日本側にかなり有利な条件」を、連合国側が提示していました。名前だけを知っていて、なかなか実際に“読む”機会のないポツダム宣言を皆さんと解読していきます。	河西晃祐	プロジェクター希望（パソコンは持参可能）	グループワークを伴う「聴講型」	月（14時まで）、火、木（午前）、金	月、火、木（午前）、金	配布史料などは持参します
14	怪しい隣人	隣国中国を「おかしな国」といかがわしく思っている人は少なくないでしょう。しかし、こうした認識には、かの地の人々の価値観や行動規範をよく知らないが故に生じたところもあります。この講義では、歴史学の立場から中国人のものの考え方についてお話しします。	下倉渉	プロジェクター	聴講形式	木	木	
15	秋田の石敢当－路上観察学始め－	石敢当という魔除け石を知っていますか？中国に由来する辟邪のアイテムなのですが、本場では廃れてしまい、現在は沖縄がメッカといえます。本州にも江戸時代以降、琉球を経由して伝わり、その名残はかつての薩摩藩の領域内で確認することができます。そして現存数でいうと、次に多いのが何と秋田市！この摩訶不思議について紹介します。	下倉渉	プロジェクター	聴講形式	木	木	
16	砂漠の文化：中央アジアのオアシス世界	ユーラシア大陸中央域に広がる乾燥地帯。日本とは全く異なる環境で築きあげられてきた、中央アジアのオアシスに住む人々の歴史・文化・宗教を学ぶことで、異文化理解の視点を養う。	小沼 孝博	プロジェクター	聴講形式	金	水、金	
17	「大明地理之図」の謎：江戸時代前期の東アジア大絵図	「大明地理之図」は、明代の中国を中心に、朝鮮・日本・琉球・安南などを彩色で描いた巨大な東アジア絵図である。この絵図の作成年代や特長などを明らかにしながら、製作者たちの東アジア認識のあり方を探っていく。	小沼 孝博	プロジェクター	聴講形式（生徒がPCやタブレット等を持っていけば、それを使用してもらうことがある）	金	水、金	
18	「十字軍」とは何であったのか？	不思議に思われるかもしれませんが、「十字軍」が行われていた時代に「十字軍」という用語はありませんでした。本講義では、「十字軍」を示す用語という観点から、「十字軍」とは何であったのか、ということについて考えてみたいと思います。	櫻井 康人	プロジェクター	聴講形式	火	火	
19	「十字軍」と「贖宥状」	長期間にわたって全ヨーロッパ世界を巻き込んだ十字軍運動に必要な資金は、どのようにして捻出されたのでしょうか。本講義では、十字軍運動の財源、およびその変遷について、お話ししたいと思います。	櫻井 康人	プロジェクター	聴講形式	火	火	
20	日本人初のエルサレム巡礼者	17世紀初頭、記録の上では初めてとなる日本人エルサレム巡礼者が現れました。本講義では、彼を通じて、当時の世界および日本（さらには東北）の情勢・状況を見てみたいと思います。	櫻井 康人	プロジェクター	聴講形式	火	火	
21	宗教改革と国家	16・17世紀のイングランドでは、国教会を人民に浸透させるための政策（国教強制）を行いました。そのために政治権力が何をどのように行ったのか、国家にとっての宗教改革とは何であったのかをお話しします。	楠 義彦	マイク（人数と教室の広さによる）	聴講形式	木	木	
22	ヨーロッパの古文書学	16・17世紀の印刷文書（英語）を一緒に読みましょう。この時代の英語はアルファベットの字体も単語のつづりも文法も現代英語とは異なっています。ほとんど暗号解読の世界ですが、古文書学の基礎の基礎を学びます。	楠 義彦	マイク（人数と教室の広さによる）	実習形式	木	木	

23	大戦勃発への第一歩：オーストリア＝ハンガリー編	1914年6月28日のサライェヴォ事件でのオーストリア＝ハンガリー帝位継承者殺害事件は第一次大戦勃発のきっかけになりました。ただし、戦争はすぐに起きたわけではなく、欧州各国は対応を模索するうちに「戦争にズルズルはまり込んでいった」のです。この授業では、事件に対するオーストリア＝ハンガリーの指導者の立場に関する謎を取り上げます。	杵淵 文夫	プロジェクタ	実習形式	月、火、水、木、金	月、火、水、木、金	目安： 学科紹介10分程度 模擬授業50分程度
24	大戦勃発への第一歩：ドイツ編	第一次大戦勃発の原因については、サライェヴォ事件の一報に接したドイツが、世界政策を実現する好機と見てオーストリア＝ハンガリーに軍事支援を確約し開戦をそそのかしたことが重要と見なされています。ところが、当時の史料を見てみると、ドイツの指導者が迷いに迷っていた様子がかがえます。この授業では、ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世の立場についての謎を取り上げます。	杵淵 文夫	プロジェクタ	実習形式	月、火、水、木、金	月、火、水、木、金	目安： 学科紹介10分程度 模擬授業50分程度
25	ヨーロッパ大航海時代アステカやインカは滅んだのに日本が減ばなかったのはなぜか	大航海時代ヨーロッパの人々は世界各地に船出していきました。その結果、南北アメリカのアステカやインカは文明ごと滅亡しましたが、ほぼ同時期に日本にもヨーロッパ人が来航しているのに日本はそうなりません。いったい何が両者の命運を分けたのか、グローバル歴史の観点から論じます。	杵淵 文夫	プロジェクタ	聴講形式	月、火、水、木、金	月、火、水、木、金	目安： 学科紹介10分程度 模擬授業30分程度
26	屋根瓦の考古学	古今東西の屋根瓦の研究が語る歴史	佐川正敏	プロジェクターとスクリーン	聴講形式	木、金	木、金	
27	アジア先史時代の考古学	アジアの人類の進化と広がりを考える	佐川正敏	プロジェクターとスクリーン	聴講形式	木、金	木、金	
28	仏教考古学入門	寺院の発掘が語る仏教文化の広がり	佐川正敏	プロジェクターとスクリーン	聴講形式	木、金	木、金	
29	日本列島北辺の文化－オホーツク文化	日本列島には多く大陸由来の文物がやってきました。北海道、サハリン、大陸と続く北の道もその一つです。そこにはどのような歴史があるのでしょうか？「オホーツク文化」は、古代の北海道と大陸間との交流を行った文化として知られています。この文化はまだ未解明な部分も多いですが、近年の発掘調査や研究成果から描かれる内容や、後世に果たした役割について紹介します。	木山克彦	プロジェクター、スクリーン	聴講形式	月、金	木、金	
30	見てはならない史料を読む	歴史史料には見ることも、触れることも許されてこなかったようなものがあります。たとえば、地域の神社に残された史料は門外不出であることが少なくありませんでした。そうしたヒミツの史料を紐解いて、地域の歴史や文化を探っていきます。	金子祥之	プレゼンテーションソフトを使って授業をするため、プロジェクター、スクリーン	聴講形式	金	金	
31	民俗学に何ができるか	大学は、自ら問い学ぶ場です。民俗学という歴史研究のひとつの方法を学んだ学生たちが、過疎地域や被災地域とかかわりながら、どのような活動をしているのかをお示しします。社会の役に立たない、趣味に過ぎない、そのような批判を受けることもある、歴史を学ぶことの意義や実践性を、実際の学生たちの活動を通して体感してもらいます。	金子祥之	プレゼンテーションソフトを使って授業をするため、プロジェクター、スクリーン（DVDが再生できると望ましい）	聴講形式、実習形式も可	金	金	
32	民俗行事を問い直す	祭りや芸能など、地域の中で昔から変りなく受け継がれてきたイメージのある民俗行事。はたして本当にそうなのか？本講義では、ちょっと違った視点から問い直すことで、民俗学の面白さを体験してもらいます。	政岡伸洋	プロジェクター・スクリーン	聴講形式	火、水、木、金	火、水、金	
33	図書館とは何か？	無料で本を貸してくれ静謐な学習環境を提供してくれる従来の図書館は、カフェや本屋が併設されたり、話してもokな空間が増えてきました。しかし、図書館は本来何なのでしょう？そして、どうあるべきでしょうか？20年に渡る大学図書館勤務と、インドの図書館思想家であるS.R.ランガタンの研究を通して、図書館の本質について解説します。（公共・大学図書館の職員研修などにも活用ください。）	吉植庄栄	スクリーン、プロジェクタ、インターネット環境	聴講＆演習形式	火、木	火、木、金	
34	学校図書館を充実させるには？	小学校・中学校・高等学校の教育課程の展開に寄与するための学校図書館ですが、どこかまだ重要性が定着していません。学校図書館の意義や必要性、そして現在のGIGAスクール、探究学習強化の流れの中で学校図書館がどうあるべきか、20年に渡る大学図書館勤務と、インドの図書館思想家であるS.R.ランガタンの研究を通して、解説します。（学校図書館関係者の皆研修などにも活用ください。）	吉植庄栄	スクリーン、プロジェクタ、インターネット環境	聴講＆演習形式	火、木	火、木、金	

35	探究学習充実化のための文献探索	国策で強化が進められている探究学習は、生徒の自主性と創造性を伸ばす仕組みとして期待されています。一方、探究がインターネットによる安易な調査で済まされがちです。この講義では、大学図書館で情報リテラシー教育を担当してきた経験を活かし、文献探索・読解を通して探究学習をより充実・高度化させることを目指して講義&演習を行います。（小中高の探究学習担当の先生、高等学校の生徒への講習にもご活用ください。）	吉植庄栄	スクリーン、プロジェクタ、インターネット環境	聴講&演習形式	火、木	火、木、金	
----	-----------------	---	------	------------------------	---------	-----	-------	--

※講義開催曜日は目安となります。講義開催曜日であっても都合により出席しかねる場合がございますのでご容赦ください。

※講義開催曜日は本学の授業開講期間の目安となります。例年の授業開講期間は以下のとおりです。

・前期 4月～8月上旬

・後期 9月中旬～翌1月

詳細は学事暦(<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/schedule.html>)を参照してください。

授業休業期間（夏休みなど）の講義開催曜日はお問合せください。